

# 宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

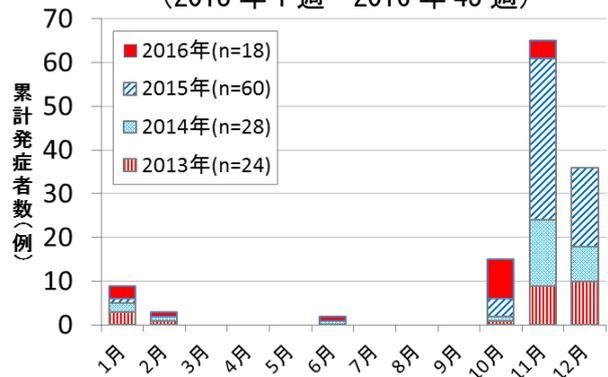
## 宮崎県第45週の発生動向

### □ 今週のトピックス

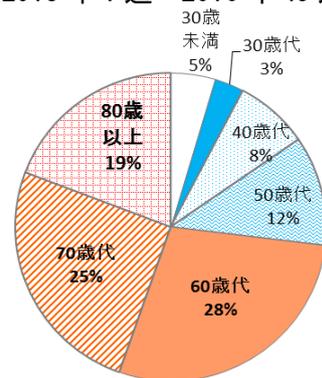
・**風しん**(全数報告の感染症)の報告が1例あった。  
 (2014年40週以来の報告) 宮崎市保健所からの報告で、30歳代女性、ワクチン接種歴は平成25年に1回目を接種し、2回目は不明であった。

・**つつが虫病**(全数報告の感染症)の報告が都城保健所から6例、高鍋保健所から2例、宮崎市及び小林保健所から各1例あった。県内での報告は今年累計19例となった。過去4年間に報告された患者の年齢別割合は60歳以上が約7割を占め、発生時期は11月をピークとして2月までである。

県内のつつが虫病 月別発症者数 (2013年1週~2016年45週)



県内のつつが虫病年齢別割合 (130例) (2013年1週~2016年45週)



### □ 全数報告の感染症

(45週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 5 例。
- 3 類感染症：報告なし。4 類感染症：つつが虫病 10 例。
- 5 類感染症：ウイルス性肝炎 1 例、  
 侵襲性肺炎球菌感染症 1 例、風しん 1 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	50歳代	男	無症状病原体保有者	—
			70歳代	男	結核性胸膜炎	呼吸困難
		延岡	90歳代	男	疑似症患者	痰、発熱
		日向	60歳代	男	無症状病原体保有者	—
80歳代	男		肺結核	発熱		
4類	つつが虫病	宮崎市	30歳代	男	—	発熱、刺し口、発疹
			50歳代	女	—	発熱、刺し口、リンパ節腫脹、発疹
		都城	50歳代	男	—	頭痛、発熱、刺し口、リンパ節腫脹、発疹
			70歳代	女	—	発熱、刺し口、発疹
			80歳代	男	—	頭痛、発熱、刺し口、発疹
			80歳代	女	—	刺し口、発疹
			80歳代	女	—	発熱、刺し口、発疹
			小林	50歳代	男	—
		高鍋	60歳代	女	—	刺し口
			80歳代	女	—	頭痛、発熱、刺し口、リンパ節腫脹、発疹
5類	ウイルス性肝炎	宮崎市	30歳代	女	B型	嘔吐
	侵襲性肺炎球菌感染症	宮崎市	70歳代	男	—	頭痛、発熱、全身倦怠感、菌血症、腰痛、浮腫 ワクチン接種歴無し
	風しん	宮崎市	30歳代	女	検査診断例	発熱、発疹 ワクチン接種歴 1回目平成25年8月 2回目 不明

## □ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は688人(定点当たり21.8)で、前週比95%と減少した。前週に比べ増加した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎と感染性胃腸炎で、減少した主な疾患はRSウイルス感染症と咽頭結膜熱であった。

### ★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

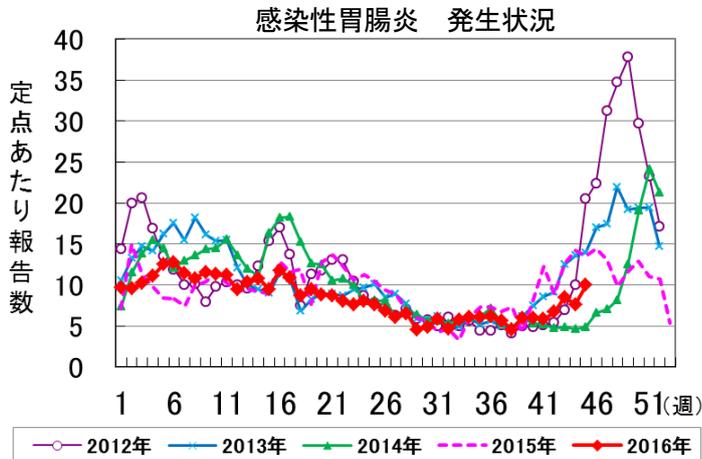
#### 【感染性胃腸炎】

報告数は359人(10.0)で、前週比131%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値\*(11.8)の約0.9倍であった。小林(28.0)、宮崎市(11.7)、都城(10.8)保健所からの報告が多く、年齢別は別グラフに示す。

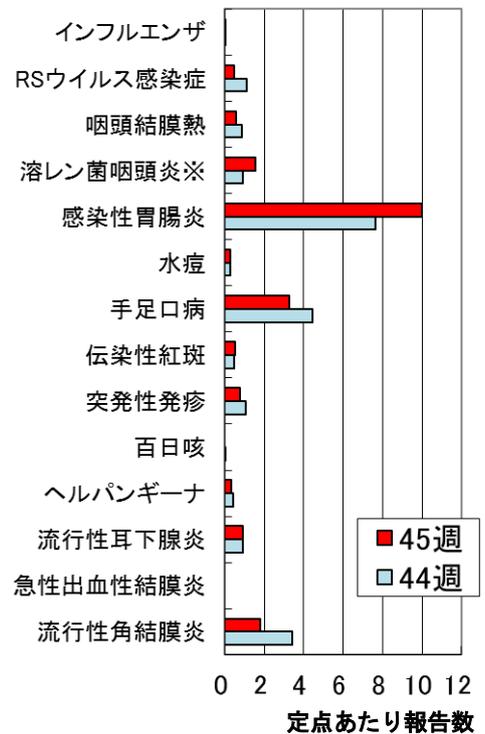
#### 【手足口病】

報告数は117人(3.3)で、前週比73%と減少した。例年同時期の定点あたり平均値\*(1.4)の約2.3倍であった。日南(10.3)、中央(5.0)、宮崎市(4.9)保健所からの報告が多く、年齢別は1~2歳が全体の半数を占めた。

\* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値

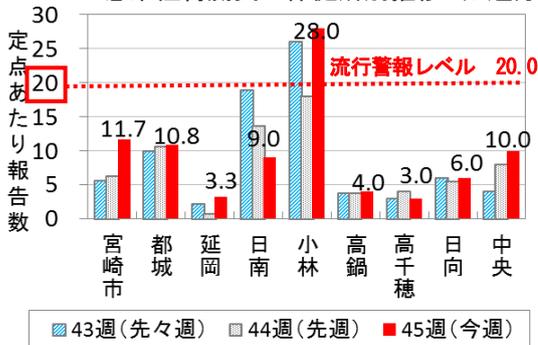


#### 《前週との比較》

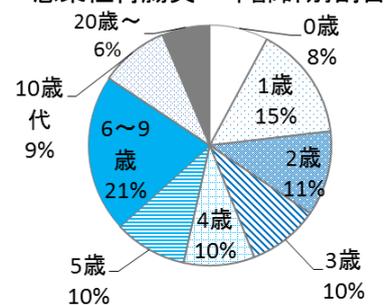


※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

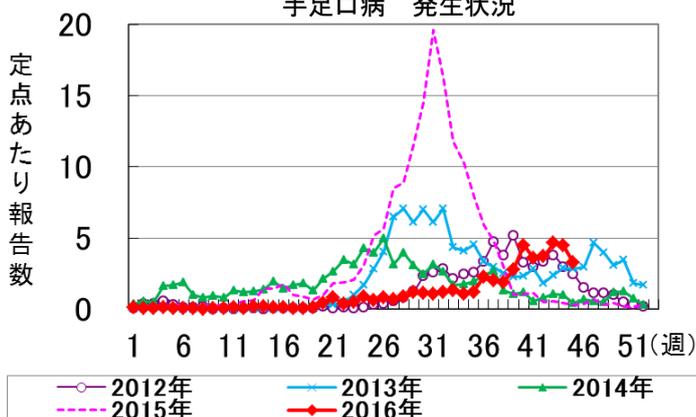
#### 感染性胃腸炎 保健所別推移 (3週分)



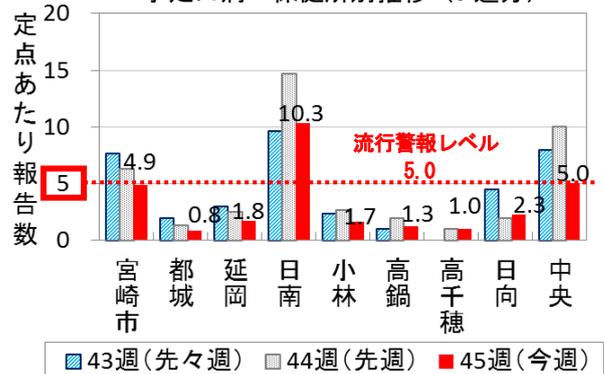
#### 感染性胃腸炎 年齢群別割合



#### 手足口病 発生状況



#### 手足口病 保健所別推移 (3週分)



★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：宮崎市(6例)、高鍋(2例)、延岡、日向(各1例)保健所から報告があった。0～4歳が4例、5～9歳が3例、10歳代が2例、20歳代が1例であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	なし
日南	手足口病(10.3)
小林	感染性胃腸炎(28.0)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	手足口病(5.0)

＊流行警報レベル開始基準値＊

- ・感染性胃腸炎(20.0)
- ・手足口病(5.0)

🇯🇵 全国 2016 年第 44 週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第 44 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	315 例				
3類感染症	細菌性赤痢	2 例	腸管出血性大腸菌感染症	69 例	パラチフス	2 例
4類感染症	A型肝炎	2 例	重症熱性血小板減少症候群	4 例	つつが虫病	19 例
	デング熱	3 例	日本紅斑熱	7 例	マラリア	1 例
	レジオネラ症	28 例	レプトスピラ症	1 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	13 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	19 例	急性脳炎	6 例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3 例	後天性免疫不全症候群	9 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3 例	侵襲性肺炎球菌感染症	37 例	水痘（入院例）	5 例
	梅毒	61 例	破傷風	2 例	風しん	1 例
	麻しん	2 例				

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 101%とほぼ横ばいであった。前週と比較して増加した主な疾患はインフルエンザと感染性胃腸炎であった。減少した主な疾患はRSウイルス感染症とヘルパンギーナであった。

感染性胃腸炎の報告数は 20,253 人(6.4)で前週比 122%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値\*(4.6)の約 1.4 倍であった。広島県(12.5)、三重県(12.3)、島根県(11.9)からの報告が多く、年齢別では 1～5 歳が全体の約 6 割を占めた。

\* 過去 5 年間の当該週、前週、後週（計 15 週）の平均値

## 月報告対象疾患の発生動向 <2016年10月>

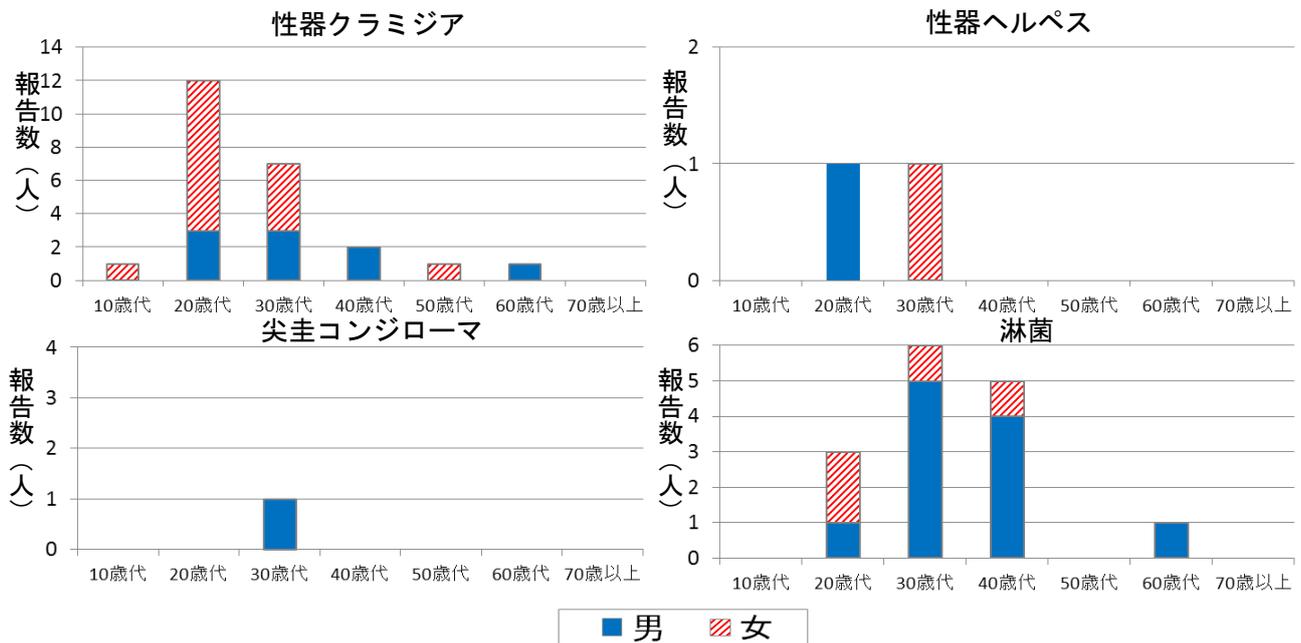
### □性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は42人(3.2)で、前月比120%と増加した。また、昨年10月(2.6)の約1.2倍であった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数24人(1.9)で、前月(1.5)の約1.2倍、昨年10月(1.5)の約1.2倍であった。20歳代が全体の半数を占めた。(男性9人・女性15人)
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数2人(0.15)で、前月及び昨年10月(0.15)の1.0倍であった。(男性1人、女性1人)
- 尖圭コンジローマ：報告数1人(0.08)で、前月(0.23)の約0.3倍、昨年10月(0.15)の約0.5倍であった。(男性1人)
- 淋菌感染症：報告数15人(1.2)で、前月及び昨年10月(0.77)の約1.5倍であった。(男性11人、女性4人)



【全国】 定点医療機関総数：985

定点医療機関からの報告総数は4,029人(4.1)で、前月比98%とほぼ横ばいであった。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,087人(2.1)で前月比96%、性器ヘルペスウイルス感染症752人(0.76)で前月比101%、尖圭コンジローマ474人(0.48)で前月比100%、淋菌感染症716人(0.73)で前月比97%であった。

### □薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は15人(2.1)で前月比125%と増加した。また、昨年10月(2.4)の約0.9倍であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数15人(2.1)で、前月の約1.3倍、昨年10月(2.3)の約0.9倍であった。70歳以上が全体の約9割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

【全国】 定点医療機関総数：474

定点医療機関からの報告総数は1,534人(3.2)で、前月比103%とほぼ横ばいであった。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,370人(2.9)で前月比103%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症149人(0.31)で前月比97%、薬剤耐性緑膿菌感染症15人(0.03)で前月比100%であった。

宮崎県 感染症情報

(71 定点医療機関)

2016年 第45週(11月7日～11月13日)

疾病名		第44週	第45週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	2	2		1						1	
	定点あたり	0.03	0.03	0.00	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.17	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	40	17	6	2	5	1	2			1	
	定点あたり	1.11	0.47	0.60	0.33	1.25	0.33	0.67	0.00	0.00	0.25	0.00
咽頭結膜熱	報告数	31	20	8	1	1	2		4		2	2
	定点あたり	0.86	0.56	0.80	0.17	0.25	0.67	0.00	1.00	0.00	0.50	2.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	33	56	24	5	7	10	2	6			2
	定点あたり	0.92	1.56	2.40	0.83	1.75	3.33	0.67	1.50	0.00	0.00	2.00
感染性胃腸炎	報告数	274	359	117	65	13	27	84	16	3	24	10
	定点あたり	7.61	9.97	11.70	10.83	3.25	9.00	28.00	4.00	3.00	6.00	10.00
水痘	報告数	9	9	1	4	1		2			1	
	定点あたり	0.25	0.25	0.10	0.67	0.25	0.00	0.67	0.00	0.00	0.25	0.00
手足口病	報告数	160	117	49	5	7	31	5	5	1	9	5
	定点あたり	4.44	3.25	4.90	0.83	1.75	10.33	1.67	1.25	1.00	2.25	5.00
伝染性紅斑	報告数	17	18	4	3		2	1	2	1	4	1
	定点あたり	0.47	0.50	0.40	0.50	0.00	0.67	0.33	0.50	1.00	1.00	1.00
突発性発しん	報告数	38	28	11	4	3	1		4		4	1
	定点あたり	1.06	0.78	1.10	0.67	0.75	0.33	0.00	1.00	0.00	1.00	1.00
百日咳	報告数	1										
	定点あたり	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	15	11	1	2	1	6		1			
	定点あたり	0.42	0.31	0.10	0.33	0.25	2.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	33	32	9	4	2	1		7	2	7	
	定点あたり	0.92	0.89	0.90	0.67	0.50	0.33	0.00	1.75	2.00	1.75	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	17	9	6	3							
	定点あたり	3.40	1.80	3.00	1.50	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数	10	10	6		1			2		1	
	定点あたり	1.43	1.43	6.00	0.00	1.00	0.00	0.00	2.00		1.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:5、基幹定点:7

上段:報告数  
下段:定点あたり報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2016年第1週～45週)

2類感染症	結核	183例(5)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	13例				
4類感染症	E型肝炎	3例	A型肝炎	3例	重症熱性血小板減少症候群	8例
	チクングニア熱	1例	つつが虫病	19例(10)	デング熱	1例
	日本紅斑熱	6例	レジオネラ症	1例		
5類感染症	アメーバ赤痢	13例	ウイルス性肝炎	4例(1)	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	8例
	急性脳炎	10例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例
	後天性免疫不全症候群	5例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3例	侵襲性肺炎球菌感染症	7例(1)
	水痘(入院例)	3例	梅毒	8例	播種性クリプトコックス症	3例
	破傷風	2例	風しん	1例(1)		

( )内は今週届出分、再掲